

エコアクション21

環境経営レポート

～人に優しい 地域に優しい 地球に優しい環境づくり～

期間 令和4年10月1日～令和5年9月30日



発行日 : 令和5年12月4日

株式会社 亀井組



環境経営方針

基本理念

株式会社亀井組は、100年後の世代や地域に誇れる社会を目指し、地球環境にやさしい活動を行う。本業である総合建設業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の活動に自主的に積極的に取り組みます。

方針

1. 当社の事業活動による環境への負荷を認識し、環境保全の継続的な改善を行い、社会的責任に努めます。
2. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。

1) 二酸化炭素排出量の削減（総エネルギー使用量の削減）

2) 廃棄物の削減あるいは及びリサイクルの推進

3) 水使用量の削減

4) グリーン購入の推進

5) 再生資源の積極的利用の推進

6) 地域清掃活動等の社会貢献活動

3. 事業活動に関わる環境関連法規、条例、その他の要求事項を遵守します。

上記の方針達成のために目標を設定し、環境経営計画に従って実施します。
また定期的に見直し、環境経営システムを推進し、全従業員に周知します。

制定日 令和1年10月01日

代表取締役

朝野 佳伸

【 会社概要 】

(1) 名称及び代表者名

株式会社 亀井組
代表取締役 朝野 佳伸

(2) 所在地

鳴門本社	徳島県鳴門市撫養町立岩字七枚114番地
徳島本店	徳島県徳島市万代町6丁目20番2号
中山資材置き場・倉庫	徳島県鳴門市撫養町木津字奥中山1277
黒崎資材置き場・倉庫	徳島県鳴門市撫養町黒崎字清水96
第三倉庫	徳島県鳴門市撫養町小桑島字前組

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 根来 慎太郎
担当者 管理本部 根来 慎太郎
TEL : 088-625-2100
FAX : 088-625-2102
E-mail info@kamei93.co.jp
URL http://www.kamei93.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業（特定建設業）

- | | |
|------------------|-----------|
| ・土木工事業 | ・ほ装工事業 |
| ・建築工事業 | ・しゅんせつ工事業 |
| ・大工工事業 | ・内装仕上工事業 |
| ・とび・土工工事業 | ・造園工事業 |
| ・石工事業 | ・水道施設工事業 |
| ・屋根工事業 | ・電気工事業 |
| ・タイル・れんが・ブロック工事業 | ・一級建築士事務所 |
| ・鋼構造物工事業 | ・宅地建物取引業 |

(5) 事業の規模

完成工事高	3,342 百万円 (2023 年度)
工事件数	1,038 件
従業員	70 名
本社延べ面積	392㎡
徳島本店延べ面積	1,020㎡
中山資材置き場・倉庫 面積	3,534㎡
黒崎資材置き場・倉庫 面積	2,542㎡
第三倉庫 面積	164㎡

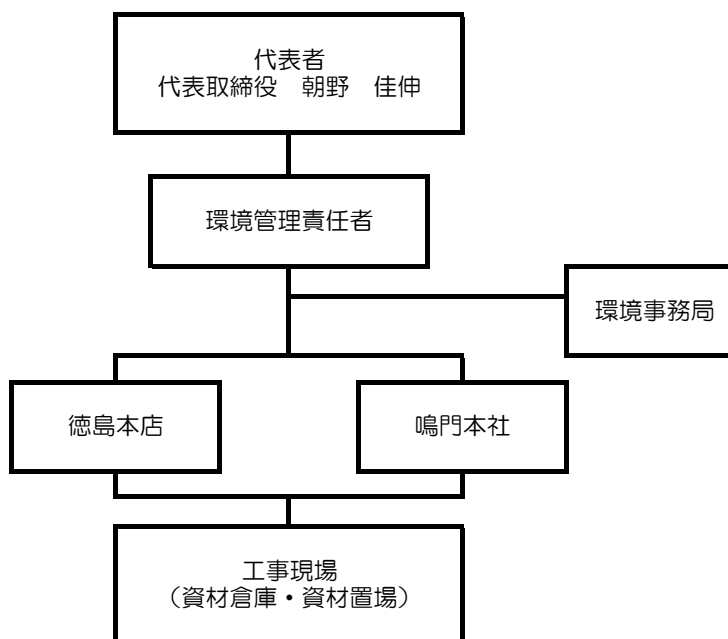
【 認証・登録範囲 】

上記記載内容と同じ（全組織・全活動）を対象とする

作成日： 令和1年10月1日

改訂日： 令和3年7月23日

組織図及び役割・責任・権限



担当者	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	・環境経営システムの目標／環境経営計画を策定、運用する
	・環境経営計画書を作成
	・環境経営の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者、E A 2 1 推進事務局
	・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・「環境関連法規等チェックリスト」の作成
	・環境経営計画の実績集計
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
建築部・土木部 (資材倉庫・資材置場) 部署長・工事責任者	・環境経営計画の具体的な取組内容を実践し推進する
	・各部・現場において従業員・作業員への環境教育を推進する
	・環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を認識し実践する
	・環境に関する法令の整理及び周知指導
	・問題点の発見、是正、予防処置
管理本部・営業部 部署長	・環境経営計画の具体的な取組内容を実践し推進する
	・事務において事務員への環境教育を推進する
	・環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を認識し実践する
	・環境に関する法令の整理及び周知指導
	・問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

【 環境経営目標と実績(事務所、現場) 】

作成者: 根来 慎太郎

作成日: 令和4年10月1日

更新日: 令和5年9月30日

【 環境経営目標と実績 】

- (1) 2020 年度を基準として3年間に二酸化炭素排出量、電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量及び水使用量は毎年1%削減する。
- (2) グリーン購入は事務用品(ファイル)を対象とし100%とする。
- (3) 再生資源の積極的利用の推進
- (4) 社会貢献活動は1年間で年9回
- (5) 化学物質の使用はありません。

※目標数値参考値: 電力事業者二酸化炭素排出係数 令和1年度実績: 四国電力=0.411 F-Power=0.514

1. 事業所

項 目			単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度			
				基準値	目 標	目 標	目 標	実績	対目標比(%)	達成率(%)
二酸化炭素 排出量の 削減	電力	本店	kg-CO2	29,488	29,193	28,898	28,603	38,426	134.3%	74.4%
		本社	kg-CO2	14,580	14,434	14,288	14,142	6,037	42.7%	234.3%
		その他	kg-CO2	10,150	10,049	9,947	9,846	8,719	88.6%	112.9%
	ガソリン	kg-CO2	177,717	175,940	174,163	172,386	197,116	114.3%	87.5%	
	合計	kg-CO2	231,935	229,615	227,296	224,977	250,298	111.3%	89.9%	
一般廃棄物の削減			kg	1,680	1,663	1,646	1,630	1,505	92.4%	108.3%
水使用量(投入量)の削減			m3	806	798	790	782	756	96.7%	103.4%
グリーン購入の推進			回	7	7	7	7	7	100.0%	100.0%
社会貢献活動(清掃活動)			回	9	9	9	9	9	100.0%	100.0%

2. 現場

項 目			単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度		
				基準値	目 標	目 標	目 標	実績	対目標比(%)
二酸化炭素排出量の削減	電力		kg-CO2	14,269	14,126	13,983	13,841	25,161	181.8%
	軽油		kg-CO2	31,136	30,824	30,513	30,202	15,166	50.2%
	灯油		kg-CO2	852	843	835	826	2,612	316.1%
	合計		kg-CO2	46,256	45,794	45,331	44,869	42,939	95.7%
産業廃棄物の削減			トン	3,786	3,748	3,710	3,672	5,209	141.9%
再生資源の積極的利用の推進(再生砕石)計画実施率			%	100	100	100	100	100	100.0%

【★】エネルギー消費 原単位にて数値換算 実績値÷年度決算売上高

◆原単位目標基準値: 2020 年度決算売上高 2,360 百万円

◆年度実績: 2023 年度決算売上高 3,342 百万円

1. 事業所

項 目			原単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度			
				基準値	目 標	目 標	目 標	実績	対目標比(%)	達成率(%)
二酸化炭素 排出量の 削減	電力	本店	kg-CO2/百万円	12.495	12.370	12.245	12.120	11.498	94.9%	105.4%
		本社	kg-CO2/百万円	6.178	6.116	6.054	5.992	1.806	30.1%	331.8%
		その他	kg-CO2/百万円	4.301	4.258	4.215	4.172	2.609	62.5%	159.9%
	ガソリン		kg-CO2/百万円	75.304	74.551	73.798	73.045	58.981	80.7%	123.8%
	合計		kg-CO2/百万円	98.278	97.295	96.312	95.329	74.894	78.6%	127.3%
一般廃棄物の削減			kg/百万円	0.712	0.705	0.698	0.691	0.450	65.1%	153.6%

2. 現場

項 目			原単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度		
				基準値	目 標	目 標	目 標	実績	対目標比(%)
二酸化炭素排出量の削減	電力		kg-CO2/百万円	6.046	5.986	5.925	5.865	7.529	128.4%
	軽油		kg-CO2/百万円	13.193	13.061	12.929	12.797	4.538	35.5%
	灯油		kg-CO2/百万円	0.361	0.357	0.354	0.350	0.782	223.4%
	合計		kg-CO2/百万円	19.600	19.404	19.208	19.012	12.849	67.6%
産業廃棄物の削減			トン/百万円	1.604	1.588	1.572	1.556	1.559	100.2%

【 主要な環境経営計画の内容 取組み結果の評価と次年度の取組み内容 】

重点テーマ	具体的項目	責任者	担当者	日程	実施状況(月・年間)					評価・指示 ※年間
					12	3	6	9	年間	
①二酸化炭素排出量の削減 (電力使用量、燃料使用量)	空調の適温化(夏28℃ 冬20℃)	環境 管理 責任者	社員 全員	通年	○	○	○	○	○	・不使用時の電灯とパソコンの消灯を重点的に心がけた。 ・クールビズ、ウォームビズの実施 ・今後も継続していく。 ・社有車にハイブリッド化を促進、今後もエコドライブの推進を実施
	不使用場所及び昼食時の消灯			通年	◎	◎	◎	◎	◎	
	パソコン不使用時の電源OFF			通年	◎	◎	◎	◎	◎	
	エコドライブの推進・アイドリングストップ			通年	◎	◎	◎	◎	◎	
	短距離の車両不使用			通年	○	○	○	○	○	
②廃棄物排出量の削減 リサイクルの推進	一般廃棄物の削減	工務 部 部 長	社員 全員	通年	◎	◎	◎	◎	◎	・会議資料の電子化をさらに推進し、タブレット等を活用、コピー用紙の削減に努めた。 ・オンライン会議を随時取り入れ、移動軽減を指示。 ・一般事業ごみ分別の再指導を行った。
	産業廃棄物の削減(マニフェスト管理)			通年	○	○	○	○	○	
③水使用量の削減	節水の徹底・節水ラベル貼付け	管 理 本 部 係 長	社員 全員	随時	◎	◎	◎	◎	◎	・節水ラベル等を貼付し、節水に心がけた。 ・今後も継続していく
	こまめな開閉作業の励行			随時	◎	◎	◎	◎	◎	
	水道使用量の集計と統計			6月	○	○	○	○	○	
④グリーン購入の推進	グリーンマーク対象商品の購入 (事務用品ファイル・作業服)	管 理 本 部 経 理 担 当	社員 全員	随時	◎	◎	◎	◎	◎	・事務用品購入時、グリーン購入に取り組んだ。 ・今後も継続していく。
⑤再生資源の積極的利用 の推進	再生砕石の使用	工 務 部 部 長	社員 全員	随時	◎	◎	◎	◎	◎	・再生砕石の使用推進に取り組んだ。 ・今後も実施していく。
⑥社会貢献活動	会社周辺の清掃活動(年9回実施) (年間国道3回・県道3回・市道3回)	工 務 部 部 長	社員 全員	随時	◎	◎	◎	◎	◎	・道路のアドプト清掃作業を年に実施。 ・計画通りに実施できた。 ・今後も継続していく。

達成状況 ◎十分できている ○ほぼできている △まだ不十分 ×できていない

【次年度の環境経営目標および環境経営計画】

◆次年度環境経営目標 ※黒枠

- (1) 過去3年度の平均値を基準として3年間に二酸化炭素排出量、電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量及び水使用量は毎年1%削減する。
- (2) グリーン購入は事務用品(ファイル)を対象とし100%とする。
- (3) 再生資源の積極的利用の推進
- (4) 社会貢献活動は1年間で年9回

※目標数値参考値: 電力事業者二酸化炭素排出係数 令和5年度実績: 四国電力=0.454 (株)FPS=0.435

1. 事業所

項 目			単位	過去3年平均	2024 年度	2025 年度	2026 年度
				基準値	目 標	目 標	目 標
二酸化炭素 排出量の削減	電力	本店	kg-CO2	37,044	36,674	36,303	35,933
		本社	kg-CO2	6,834	6,765	6,697	6,629
		その他	kg-CO2	7,929	7,850	7,771	7,691
	ガソリン		kg-CO2	165,031	163,381	161,730	160,080
	合計		kg-CO2	216,838	214,669	212,501	210,333
一般廃棄物の削減			kg	1,239	1,227	1,215	1,202
水使用量(投入量)の削減			m3	846	837	829	820
グリーン購入の推進			回	7	7	7	7
社会貢献活動(清掃活動)			回	9	9	9	9

2. 現場

項 目		単位	過去3年平均	2024 年度	2025 年度	2026 年度
			基準値	目 標	目 標	目 標
二酸化炭素 排出量の削減	電力	kg-CO2	22,061	21,840	21,619	21,399
	軽油	kg-CO2	25,968	25,708	25,449	25,189
	灯油	kg-CO2	1,159	1,147	1,136	1,124
	合計	kg-CO2	49,187	48,695	48,203	47,712
産業廃棄物の削減		kg	5,270,494	5,217,789	5,165,084	5,112,380
再生資源の積極的利用の推進 (再生砕石)計画実施率		%	100	100	100	100

【★】エネルギー消費 原単位にて目標数値換算 基準値÷過去3年度決算売上高の平均値

◆原単位目標基準値: 2021-2023年度平均売上 3,045 百万円

1. 事業所

項 目			現単位	過去3年平均	2024 年度	2025 年度	2026 年度
				基準値	目 標	目 標	目 標
二酸化炭素 排出量の削減	電力	本店	kg-CO2/百万円	12.166	12.044	11.922	11.801
		本社	kg-CO2/百万円	2.244	2.222	2.199	2.177
		その他	kg-CO2/百万円	2.604	2.578	2.552	2.526
	ガソリン		kg-CO2/百万円	54.197	53.655	53.113	52.571
	合計		kg-CO2/百万円	71.211	70.499	69.786	69.075
一般廃棄物の削減			kg/百万円	0.407	0.403	0.399	0.395

2. 現場

項 目		現単位	過去3年平均	2024 年度	2025 年度	2026 年度
			基準値	目 標	目 標	目 標
二酸化炭素 排出量の削 減	電力	kg-CO2/百万円	7.245	7.172	7.100	7.028
	軽油	kg-CO2/百万円	8.528	8.443	8.357	8.272
	灯油	kg-CO2/百万円	0.381	0.377	0.373	0.369
	合計	kg-CO2/百万円	16.154	15.992	15.830	15.669
産業廃棄物の削減		トン/百万円	1,730.868	1,713.560	1,696.251	1,678.942

◆次年度環境経営計画

重点テーマ	具体的項目	責任者	担当者	日程
①二酸化炭素排出量の削減 (電力使用量、燃料使用量) ◆事業所	空調の適温化(夏28℃ 冬20℃) 不使用場所及び昼食時の消灯 パソコン不使用時の電源OFF エコドライブの推進・アイドリングストップ 短距離の車両不使用	環境管理 責任者	社員 全員	随時
				随時
				随時
				随時
				随時
◆現場事務所	太陽光発電・蓄電池付き現場事務所の活用 パソコン不使用時の電源OFF エコドライブの推進・アイドリングストップ 排出ガス対策型重機の活用 →協力会社への活用推奨	現場管理 責任者	社員 全員	随時
				随時
				随時
				随時
②廃棄物排出量の削減 リサイクルの推進	一般廃棄物の削減 産業廃棄物の削減(マニフェスト管理)	工務部 部長	社員 全員	随時
				随時
③水使用量の削減	節水の徹底・節水ラベル貼付け こまめな開閉作業の励行 水道使用量の集計と統計	管理本部 係長	社員 全員	随時
				随時
				6月
④グリーン購入の推進	グリーンマーク対象商品の購入 (事務用品ファイル・作業服)	管理本部 経理担当	社員 全員	随時
⑤再生資源の積極的利用	再生砕石の使用	工務部 部長	社員 全員	随時
⑥社会貢献活動	会社周辺の清掃活動(年9回実施) (年間国道3回・県道3回・市道3回)	工務部 部長	社員 全員	随時

【 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無 】

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。
近隣住民から特に指摘は無く、また訴訟等も同様に1件もありませんでした。

主な環境関連法規制の遵守状況等

環境法規制等の名称	要求事項	遵守状況の確認	評価
廃棄物処理法	委託契約の締結 マニフェストの交付・保管 不法投棄禁止 マニフェスト交付実績の報告	遵守	○
リサイクル法	再資源利用計画書・実施書の作成 再資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守	○
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書作成 知事への届出書	遵守	○
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機械使用時における フロン類の漏えい防止 フロン回収及び引き取り等証明書の管理及び保管	遵守	○
大気汚染防止法	特定粉じん等排出作業 飛散防止等作業計画書 事前調査結果記録の保管・書面交付・報告	遵守	○
浄化槽法	指定検査機関の定期検査を受ける 保守点検、清掃の実施	遵守	○
騒音規制法	地域指定された場所における特定建設作業（解体作業を含む）の実施届出	遵守	○
振動規制法	地域指定された場所における特定建設作業（解体作業を含む）の実施届出	遵守	○
徳島県生活環境保全条例	地域指定された場所における特定建設作業（騒音に関するもの。解体作業を含む。）の実施届出	遵守	○

【 代表者による全体の評価と見直し・指示 】

～【環境経営全体への取組評価と見直し】～

■定期見直し（事業年度終了後）□臨時見直し

【総括】

事業所の目標は、ほぼ達成しているが、現場での目標達成にはまだまだ努力・工夫が必要。
今後もより一層の工夫をして、効率的・合理的にエネルギーや廃棄物の削減に努めて下さい。

項目	変更の必要性	指示事項・コメント
環境経営方針	□有 ■無	変更なし、継続して活動を行う。
目標・活動計画	□有 ■無	取組については改善方向で対応する。
実施体制・その他	□有 ■無	変更なし、継続して活動を行う。

[環境経営計画・目標の達成状況]※原単位での評価

目標項目	目標値		コメント（目標値に対するコメント・環境経営計画に対するコメント）
	達成率	達成状況	
電力の削減	○	○	事業所は達成だが現場はまだまだ工夫が必要。
燃料使用量	○	△	事業所は達成だが、冬季の現場での灯油が増加、工夫が必要。
一般廃棄物の削減	○	◎	目標達成。継続する
産業廃棄物の削減	△	○	99%達成。あと少し
水使用量の削減	○	◎	目標達成。継続する
グリーン購入の推進	○	◎	目標達成。継続する
再生砕石利用の推進	○	◎	目標達成。継続する
社会貢献活動	○	◎	目標達成。継続する
＜改善への提案＞			
今後は、従業員の意識を高めて unnecessary エネルギーは極力抑える。			
※目標達成率：○：100%以上 △：90%以上 ×：90%未満			
※目標達成状況：◎十分できている ○ほぼできている △まだ不十分 ×できていない			

実施日： 令和5年10月1日
代表取締役 朝野 佳伸

【添付資料】 環境経営の取り組み内容 SDG s への弊社の取組 自社ホームページでの宣言

株式会社 亀井組

理念・沿革・次の100年へ 会社概要・エコ事業・建築事業・土木事業・住宅事業・文化事業

株式会社 亀井組 SDGs への取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上に誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

☞ SDGs外務省HP

3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も

「健康事業所宣言」
社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指して積極的に取り組みを行っています。

健康経営への取り組み

亀井組では「健康事業所宣言」を行うと共に、積極的に「健康経営」の取り組みを行っています。

1. 社員の健康診断の100%実施
2. 社員の生活習慣改善を支援
(毎月健康経営ワンポイントアドバイスを社内発信)
3. 社員がやりがいをもって働ける職場づくり
(毎月社内報「亀井通信」の発行)
4. 社員のこころの健康づくり
(相談窓口の設置、ストレスチェックの実施、個人面談など)



next 100年ビジョン
GCC (Green Construction Company) への変革

亀井組が目指すGCCとはまちづくりをする会社です。

グリーンコンストラクションカンパニーとは、100年後の世代や地域にできるだけ良い環境を残していくために、100年の歴史で培った土木・建築・住宅のものをづくり技術とベースとして、持続可能な地域社会を創造していく活動を行う亀井組の目指すべき新たな姿です。

グリーンコンストラクションカンパニー
green construction company





7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

“環境に配慮した地球に負担をかけないまちづくり”
再生可能エネルギーの利用拡大やZEHの普及に取り組んでいます。

再生可能エネルギーへの取り組み

GCCの未来のまちづくりに掲げる“環境に配慮した地球に負担をかけないまちづくり”を目指しています。

これまで社内において太陽光発電所の建設・運営を行うと共に風力発電、バイオマス発電、小水力発電については環境先進国であるドイツの企業へ視察及び研究に取り組んできました。これらも調査研究を継続して再生可能エネルギーへの取り組みをおこなっていきます。



ドイツにて再生可能エネルギー企業視察



太陽光発電所

ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) への取り組み

経済産業省では、「2020年までにハウスメーカー等が新築する注文住宅の半数以上で、2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指す」という政府目標の達成に向け、普及に向けた取り組みを行っています。

平成28年度より、自社が受注する住宅のうちZEHが占める割合を2020年までに50%以上とする目標を宣言・公表したハウスメーカー、工務店、建築設計事務所、リフォーム業者、建売住宅販売者等を「ZEHビルダー」として公募、登録し、屋号・目標値等の公表を行っています。

亀井組では2016年度（平成28年度）にZEHビルダーとして登録を行い、ZEHの普及に取り組んでいます。



ZEHモデルハウス

11 住み続けられるまちづくりを



人×環境×文化
GCCが築く未来のまちづくり

詳細

人

子供が楽しく安心して成長できるまち

国土交通省、徳島県、鳴門市などから発注される公共工事を受注することで、日頃は私たちが暮らすまちの道路や橋や堤防の建設および補修工事を行っています。

地震、台風、大雪などの災害時には国土交通省や徳島県他と災害協定を締結していることから、道路啓蒙（通行可能にすること）のためにいち早く災害現場に駆けつけて復旧作業を行います。私達は未来の子供達のために安心安全なまちづくりに取り組んでいます。



災害復旧工事



災害対策訓練 ドローン研修

環境

環境に配慮した地球に負荷をかけないまち

再生可能エネルギーや省エネルギー（ZEHなど）への取り組みの他にも建物の省エネ診断や省エネ改修提案、国土交通省のCASBEE評価員登録を行い建物評価への取り組みを行っています。環境省のエコアクション21認証・登録を行うことで、自社の活動に關する環境負荷を管理しその低減に努めています。

また、本社建物を減築→増築工事等にリノベーションを行い、工事前と比べて3割のエネルギー使用量の削減を図りました。私達は率先して地球環境に負荷をかけない活動に取り組んでいます。



エコアクション21 認証・登録証



減築・環境リノベーション 鳴門本社

文化

伝統を大切に新しい文化が生まれるまち

四国八十八ヶ所第一番札所「薬師寺」、阿波国・宮「大塚比古神社」、徳島県阿波神社など徳島県内で多数の神社仏閣の工事に携わっています。

信仰の拠り所かつ地域のシンボルである神社仏閣をこれからも大切に守っていくことで、これからも地域の伝統文化を次の世代に継承させることに貢献していきます。寺社建築で1400年以上の歴史を持つ金剛組と業務提携を行い、営業力・技術力の向上に努めています。



寺社建築 金剛組と提携



香嚴寺 本堂（2014年8月）

13 気候変動に具体的な対策を



自然災害などの緊急事態に
事業の継続・早期復旧の為にBCPを策定しています。

詳細

BCP（事業継続計画）への取り組み

BCP（事業継続計画）とは、企業が自然災害、大規模火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業活動の被害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

亀井組では2007年（平成19年）に亀井組BCPの策定に着手してから現在に至るまで、何度も修正を加え計画の見直しをしてきました。2008年には徳島県事業継続計画調査委員会委員会の調査員特別賞、2010年には同委員会の徳島県知事賞を受賞、2015年にはBCAOワードにて優秀実践賞の受賞をしました。2010年に国土交通省四国地方整備局鳴門建設BCP認定と2014年に徳島県BCP認定を受けてから現在まで、これらの認定を継続しています。



知事賞 受賞



徳島県企業BCP認定証

一人一人が「我ごと意識」を

2011年の東日本大震災後には、ワークショップ開催やGISを利用したBCPに挑戦することで、社員一人一人が「我ごと意識」を持てるように努めました。また、若手人材の育成にも積極的に関わり、社員の中にはアマチュア無線技士、防災士の資格取得や徳島大学工学博士号の取得も実現しています。

また、社外の防災ネットワークとして、4県18市における「なでしこBC連携協議会」に参画し、なでしこBCパトロール活動などに積極的に参加しています。



なでしこBC連携パトロール

駄菓子屋

災害時の備蓄を兼ねて、本社1階で駄菓子屋を営業。昔懐かしいものから新しいもの、さまざまな駄菓子屋が並び、一角には備前米・カンパツ等の防災用品も取り扱っています。

もちろん防災は亀井組の社員、お客さまも多く、遠方から訪ねて来てくださる方も少なくありません。

企業の事務所でありながら、地域の子供たちも喜ぶ場所の交差点として愛されています。



本社 駄菓子屋

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう



「100年後の世代や地域に汚れる社会を」
地球環境にやさしい活動を実践しています。



美波町未来プロジェクト

～未来の星（地球）を守る取り組み～

2021年、亀井組は「美波町観光協会」の会員になりました。美波町の大浜海岸などは昔からアカウミガメの産卵地として有名な場所であり、地球温暖化など様々な環境の変化に起因してか、近年うみがめの上陸・産卵数が減少していることが大きな課題となっています。

亀井組は社内にカメラを有することから美波町観光協会とカメラ協がりのご縁があり、微力ながら海の自然を守り、うみがめの環境を守ることに少しでも貢献したいと考えています。



美波町のウミガメ

木づな森

亀井組が大切に、おきさまの森、地域との森、社員との森。そういった大切な森を「木」で「つな」いでいきたい。そんな想いからスタートしたのが株式会社亀井組創業110周年記念事業「木づな」プロジェクトです。この森や木を活用した様々なアイディアを表現していくことが、22世紀の地域や世代に向けたメッセージだと考えています。

また、経営理念の一つである「100年後の世代や地域に汚れる社会を目指し、地球環境にやさしい活動を行う」を实践するために「木づな森」ではSGEC認証を取得することで、持続可能な森林の保護、地球環境の保護に貢献しています。



木づな森（美波町）

■二酸化炭素排出の削減

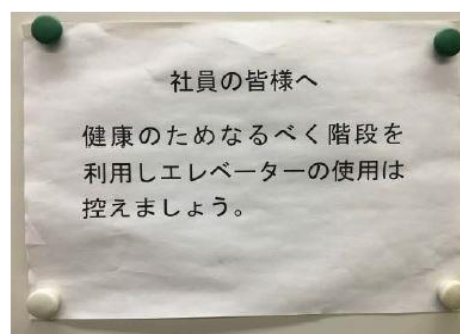
○緑のカーテンの設置



事務所の壁面にゴーヤ等のツル科の植物を育成し、グリーン化を行いました。

たくさんのゴーヤを収穫する事が出来ました。ゴーヤは従業員で分け合ったり、地域の方々にもお裾分けし、たくさんの方に喜んで頂きました。

○節電・節水の啓発



各フロア毎に節電・節水喚起の掲示、エレベーター付近に、階段利用促進の掲示をしています。

節電・節水
毎日、小さな事から
コツコツと！



■電力使用量の削減



・クールビズの実施し、節電について全職員に通知及び掲示を行っています

■産廃物排出量の削減、グリーン購入の推進

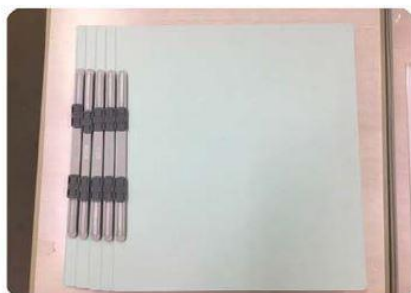
○一般廃棄物の分別、裏紙の再利用

各フロア・現場毎でゴミの分別、裏紙の再利用や電子機器の利用推奨による会議等の資料のペーパーレス化を図っています。



○エコラベル商品の優先購入

事務所・現場では事務用品の購入時に、グリーン購入法適合マーク・エコマーク認定商品の購入を優先して行っています。



- ふせん
- 蛍光ペン
- スティックのり
- ファイル
- テープのり 等

■事務所周辺の清掃活動等社会貢献活動の推進



国交省ボランティア



鳴門市OURロードアドプト



徳島県OURロードアドプト

清掃前



清掃後



■地域の環境保全活動

毎年5月末、美波町観光協会と合同で、美波町恵比須浜の清掃活動を行っています。海岸に落ちているペットボトルや空き缶、プラスチックごみを回収。美しい自然を守ること、ウミガメが上陸しやすい砂浜にすることが目的です。



〒779-2303 徳島県海部郡美波町恵比須浜



今後もこの活動を継続し、社会活動に努めていきます。

GCC への変革

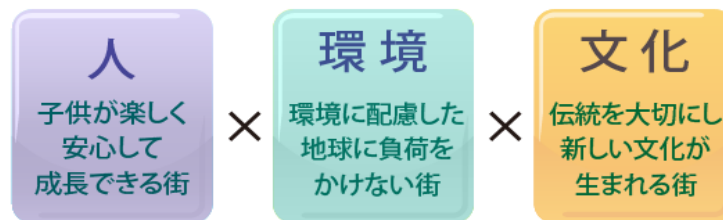


グリーン コンストラクション カンパニー
green construction company

亀井組が目指すGCCとは
まちづくりをする会社です。

グリーンコンストラクションカンパニーとは、
100年後の世代や地域にできるだけ良い環境を
残していくために、100年の歴史で培った土木・
建築・住宅の、ものづくり技術をベースとして、
持続可能な地域社会を創造していく活動を行う
亀井組の目指すべき新たな姿です。

GCC が描く未来の街づくり



GCC が目指す事業モデル

提案型特命受注モデル

企画・提案・設計・施工・メンテナンスを全て行う事で、
特命受注を目指すモデル

安定ベース組み込み型モデル

人や地域とのつながりによる安定受注や、
安定的な手数料収入等を組み込んだモデル

高付加価値事業の創出

顧客価値の高い事業を創出し、高い利益率を実現する

1 テクノロジー 3 ドメイン (1T 3D)

1つの技術やノウハウを応用、展開する事で、
3つの新規事業を創出する

木づなプロジェクト～22世紀へのメッセージ～

100年後の世代や地域に誇れる
社会を目指し、
地球環境にやさしい活動を行う。

株式会社亀井組 企業理念より

株式会社亀井組 110周年記念事業

木づなプロジェクト

— 22世紀へのメッセージ —

木づなの森購入
徳島県美波町

木づなベンチ製作
防災用備蓄可能

亀井組が木づなの森から届ける
22世紀へのメッセージ



徳島県

徳島市

勝浦町

那賀町

美波町

海陽町

木づなプロジェクトとは

株式会社亀井組の110周年記念事業として、今後数十年のスパンで展開していく「木づなプロジェクト」。

木づなの森を購入し、その「木」を活用する事で、顧客との絆、地域との絆、家族との絆、社員との絆を醸成していく、企業理念の実現に向けた、亀井組のシンボリックな活動です。

森の木を利用した備蓄が出来る「木づなベンチ」の製作や、木を活用したワークショップなどを開催します。また日本中の桜や柿の木を植樹したり等、様々なアイデアの実現に向け長期的に展開していきます。

グリーン・コンストラクション・カンパニー
green construction company
Kamei
株式会社 亀井組
<http://kamei93.co.jp>

エコプロジェクト



「街に緑を少しでも増やしたい」。
 そのような思いから、亀井組ではエコプロジェクトの一環として、家を建てられたお客様に苗木を1本プレゼントしています。徳島の青い空の下、太陽と土の恵みを受けてすくすくと成長する木に、ご家族がますます健康で、幸せになられますようにとの願いを託しています。

木は虫がつきにくくて手入れが簡単、そして葉が落ちないものを揃えました。オリーブ、シマトネリコ、ツガ、ヒメシャラ、ガビサンヤマボウシ、ソヨゴ、ハナミズキ、ミルキーウェイの8種類の中からお選びいただけます。どれにしようか、家族で真剣に考えておられる様子を拝見すると私たちまで嬉しくなります。このささやかなプレゼントが、お子様たちにとって、環境問題や地球にやさしい暮らしに興味をもつきっかけとなれば幸いです。



Olea europaea

オリーブ

- 【種類】常緑広葉樹
- 【花言葉】平和、知恵
- 【特徴】5～6月頃、芳香のある黄白色の花が咲きます。10～11月頃、光沢のある黒い楕円形の実がなります。
- 【生育域】5m未満



苗木の一例
です



Cornus hongkongensis ssp. melanotricha

ガビサンヤマボウシ

- 【種類】常緑高木
- 【特徴】5月頃、木を覆うように白い花が咲きます。秋には紅葉も美しく、庭のシンボルツリーにおススメです。
- 【生育域】5m未満



Stuartia monadelph

ヒメシャラ

- 【種類】落葉広葉樹
- 【花言葉】愛らしさ
- 【特徴】繊細な枝と美しい幹肌を持っています。7月頃には、白い小型の花が咲き、葉は秋に紅葉します。
- 【生育域】10m未満